

町の行財政運営の今後について問う

質問者 古 宮 郁 夫

町の長期総合計画は28年度より後期5年間へと移行した。新庁舎建設・箱根ヶ崎駅西などの土地区画整理・狭山池上流部や都市計画道路の整備・多摩都市モノレールの導入・雨水や汚水対策・施設維持改修・福祉保健費用の増大など、長期の財政負担となる状況や事業が立ち並ぶ。29年度の予算編成作業が開始される中、今後の行政・財政をどのように運営していくのか町長の所見を伺う。